



IV-NEWS

Vol. **46**



も く じ

- 各種国際イベント報告…………… P2
- ラオス料理教室&レシピ紹介…………… P3
- IV-THAILAND 財団…………… P4
- 贈呈式報告等…………… P5
- 板橋区長、さいたま市長面会…………… P6
- 幸子のラオスだより…………… P7
- お知らせ、寄付者一覧…………… P8

表紙写真:バザーで展示するテーブルセンターを作成する縫製コースのOJT 訓練生。

①センターの織りは女性障害者開発センターで織っている。②改造バイクで配達する女性障害者。③ラオスから届いた物品を整理する理事たち。

各種国際イベント再開！！

長引くコロナ禍で各国際イベントも自粛を余儀なくされてきましたが、行動規制も徐々に緩和され、各種国際イベントも再開されつつあります。IV-JAPANも10月のグローバルフェスタを皮切りに、次々と国際イベントに出店し、ラオスの小物販売やパンフレットの配布などを行いました。



グローバルフェスタ JAPAN2022
10月1日(土)、2日(日)
東京国際フォーラムホールE
来場者数:約12,000人



国際ふれあいフェア 2022
10月9日(日)
浦和駅東口駅前市民広場
来場者数:約3,500人



さいたま市の
清水市長(中央)



2022 大宮区民ふれあいフェア
10月29日(土)
ソニックシティ第1展示場
来場者数:約30,000人(会場全体)



あげおワールドフェア 2022
12月4日(日)
上尾市文化センター
来場者数:約1,200人

河島理事のラオスクイズに挑戦する親子



オープニングセレモニーでは
各国の国旗が勢ぞろい



富永代表による講演



フェアを盛り上げるチンドン屋

ラオス料理教室を開催しました！

コロナ禍以降、開催できていなかったラオス料理教室を、富永代表の一時帰国に合わせて12月3日に開催しました！今回はラオスのビール「ビアラオ」の輸入販売元である寮都産業(株)の村松賢志社長や、板橋区内で地域活性化多世代交流活動を行っている「おそとカフェ赤塚実行委員会」の三枝節夫実行委員長にもご協力いただき、板橋区内の調理室付き集会所でラオス料理&ビアラオを総勢25名で楽しみました！メニューは、本場の蒸し器で作るラオス主食のもち米「カオニャオ」、ひき肉の炒めとハーブの和え物「ラープ」、寮都産業(株)からご提供いただいたラオスのソーセージ「サイワ」、酸味の効いた鶏肉と野菜のスープ「トムヤムガイ」で、多くの参加者にとって初めてとなるラオス料理を、富永代表の指導の下、4班に分かれて班ごとに協力しながら調理。野菜の切り方や味付けを試行錯誤しながらみんなで完成させました。カオニャオは竹で編んだ「ティップカオ」という器に盛って各自に配り、ビアラオやトロピカルドリンクで乾杯しながらラオス料理を堪能。やっぱり、みんなで作って食べるっていいですね！食後は、富永代表による講演でラオスの最新事情やIV-JAPANの活動の様子を知っていただき、参加者の方々からは、来年5月27、28日に開催決定したラオスフェスティバルに絶対行く！ラオス現地に行ってみたい！という声が聞かれました！ご参加いただいた皆さま、事前準備から当日までお手伝いいただいた関係者の皆様のおかげで、充実した料理教室を開催することができました。ありがとうございます。

副代表理事 河島



今回はご縁があり、ラオスの料理教室に参加させていただきました。会場に着くと、すでに美味しいような香りが…！スタッフの皆さんが、ソーセージやカオニャオを準備してくださっていました。このほか、ラープというひき肉とハーブの和え物、トムヤムガイという鶏肉のスープの作り方を教えていただきましたが、いずれもハーブやスパイス、レモン汁をたくさん使うのが印象的でした。また、ラオスのビール「ビアラオ」は、もち米を主食とするお国柄らしく原料に米が使われており、爽やかな風味で、料理とともに美味しくいただきました。最後には代表の富永さんから現地のお話があり、熱意をもって活動をされている姿に感銘を受けました。今回は、ラオスという国について知る貴重な機会となりました。主催されたIV-JAPANの皆さん、ありがとうございました。佐藤 さおり

参加者さんからの感想

永年、アジアの女性たちの支援を続けておられる富永代表から、直接ラオスでの活動を伺えること、楽しみに参りました。パワフルで優しいお人柄に触れ、お庭からお持ち頂いたハーブにも癒されました。お料理は初めてのメニューばかりで不安でしたが、皆さんと協力してとても楽しく美味しく出来上がり感動！ラオスの素敵なお人たちに会いに行きたくくなりました。

塚越 幸代



ラオスのもち米鍋



カオクア(米の乾煎)



ラープ



トムヤムガイ

ラオス料理のレシピをご紹介します！

- ①電気釜で炊くもち米：事前にもち米は水に浸さず、洗ったらすぐ電気釜で水の量はもち米の半分に設定して炊きます。
- ②ラープ(3人分)：サラダ油小さじ1をフライパンに入れ、挽肉300g、塩小さじ1を強火で炒める。水大匙1~3を入れ肉をばらす。ナンパー(魚醤)大匙3、唐辛子輪切り適宜、カオクア(米を乾煎りして、粉にする)大匙3を加え、火を止めて15分ほど冷ましたら、みじん切りのハーブ(パクチ6本、ミント、セロリ)、万能ねぎ1カップ、レモン汁大匙3を入れて混ぜる。お好みで味を調整。お皿にサラダ菜、スライスきゅうり、トマト等を飾り、ラープを乗せる。
- ③トムヤムガイ(鶏)(4人分)：鍋に水6カップ、ニンニク3カケ、パクチの根(3本)を入れて沸騰させ、骨付き鶏肉4本、レモングラスみじん輪切り4本(又はレモン汁大匙4)、塩小さじ1、砂糖小さじ1、ナンパー大匙1、コブミカンの葉3枚、唐がらし1~3本、スライス玉ねぎ1個、セロリ1本、しめじ1パック入れる。火を止めてからみじん切りパクチ1カップ、ミニトマト10個、レモン汁で味を調整。コブミカンが手に入らない場合は市販のトムヤムスープの素を使い、味は調整。

「IV-THAILAND 財団」の運営にテラ・スネッサンスが参画

貧困層の若者の教育促進、農村部やスラム街の開発促進、文化交流、農村部の生活の質と環境の改善などの活動を目的として、1997年に旧称国際ボランティアの会(現認定 NPO 法人国際協力 NGO・IV-JAPAN 本部:埼玉県さいたま市、以下 IV-JAPAN) 富永幸子代表理事と現理事長ラダ・プロムヨティ氏によって設立された IV-THAILAND 財団に、この度、認定 NPO 法人テラ・ルネッサンス(本部:京都府京都市、理事長:小川真吾、以下 テラ・ルネッサンス)が運営に参画する運びとなりました。

2022年8月10日の理事会にて、IV-THAILAND 理事4名に加えて、テラ・ルネッサンス職員4名が新たに理事に就任しました。4半世紀に及ぶ IV-THAILAND の活動と歴史を尊重し、今後は同財団を通じて、テラ・ルネッサンスの経験を活かし、国際機関等への政策提言や平和の担い手を育むための教育事業を展開・協働する予定です。テラ・ルネッサンスとしてはタイで初めての拠点となります。

11月7日には、タイ・法務省矯正局のピブーンソククラム財団を通じて、薬物関連受刑者を親にもつ子どもたちへ奨学金提供を行いました。この活動は、同財団創設者富永幸子によって1990年より続けられてきた奨学金活動です。タイでは麻薬問題の解決が選挙政策に掲げられるほど、深刻な社会問題の一つとして考えられています。今後はテラ・ルネッサンスと協働し、平和の担い手を育む一環として貧困等の課題を抱えたタイ国内の若者への支援にも積極的に取り組んでいきます。

日本の NPO が海外において財団を設立し、さらに、他の日本の NPO が経営参画する事例は珍しく、持続可能な開発目標(SDGs)ゴール 17「パートナーシップ」を体現する事例として注目を集めています。



タイ国際ボランティア財団理事会の様子



ピブーンソククラム財団へ奨学金を供与



○ タイ国際ボランティア財団

1997年に認定 NPO 法人 IV-JAPAN 代表 富永幸子と現理事長ラダ・プロムヨティ氏によって設立。貧困層の若者の教育促進、農村部やスラム街の開発促進、文化交流、農村部の生活の質と環境の改善などの活動を行っている。

名称: Foundation of International Volunteers in Thailand

所在地: No. 34/5, Soi Lerdpanya (Ratchawithi 9), Rangnam Road, Ratchathewi District, Bangkok

理事長: ラダ・プロムヨティ

ຂອບໃຈ ຄອບໝາຍ(ありがとうございました)



公益財団法人 社会貢献支援財団様より ラオス事務所にカラープリンターをご寄付頂きました！

IV-JAPAN の業務のためにカラープリンターを寄付して下さった社会貢献財団に感謝するとともに、支援してくださっている全ての皆様にお礼を申し上げます。今後の IV-JAPAN の活動のために最大限に活用させていただきます。ありがとうございました。(ラオス事務所 ルンより(写真右))

パルシステム埼玉平和募金贈呈式

12月1日に浦和にある「ぱる★てらす」にて、パルシステム埼玉平和募金贈呈式が開催されました。パルシステム埼玉平和募金は同じ地球にくらす子どもと女性が人間らしくくらすための地域社会を創るため、コーヒー1杯程度の金額から参加できる国際支援として、2002年からパルシステムが組合員に呼びかけてくださっているものです。今年度は7月4回～8月3回(7/18～8/12)の4週間の受付期間で実施され、総額2,408,629円の募金が集まり、国内外で活動するNGO全5団体に贈呈されました。IV-JAPANには421,193円ものご寄付を頂きました。贈呈式には一時帰国中の富永代表が参加し、活動報告を行いました。



理事長の樋口様より目録の贈呈



受賞5団体とパルの理事



富永代表からの活動報告

高岡万葉ロータリークラブ奨学金贈呈式

12月9日富山県高岡万葉ロータリークラブの例会に富永が招待され、ラオスの現状と職業訓練の様子をパワーポイントで報告させていただきました。貴クラブのメンバーがラオスにご訪問いただきましたのは2019年を最後にコロナで現在までご訪問ができませんでした。もう10年以上もご支援を継続していただき、感謝しかありません。ラオスは2020年4月からロックダウンが2022年4月まで続き、学校も大学も閉鎖されましたが、当会の職業訓練も当初は開催できず、オンラインで実施しましたが、ホスピタリティ・介護は実習ができないとテストをしても結果が悪く、訓練人数を半分は寮でオンライン、半分は訓練所で対面でハイブリットで行うように改善しました。無事2022年8月で終了することができました。物価も1.5倍から物資により2倍にも値上がりし、運営に苦勞しておりますが、貴ロータリーのご支援で何とか切り抜けております。深くお礼を申し上げます。



八田会長より目録の贈呈



富永代表からの活動報告



2019年ラオス訪問団

芝浦工業大学大宮キャンパスにて講演



12月9日に芝浦工業大学大宮キャンパスにて、SDGsの学習会の一環としてIV-JAPANの活動及び、私自身の青年海外協力隊の活動経験を話させていただきました。NPO等の活動事象を通してSDGsについて理解深めてもらうための講義です。104名の学生の出席があり、みなさん真剣に耳を傾けてくださいました。学生さんにはあまり馴染みのない話だったかもしれませんが、これをきっかけに国際協力活動に関心をもっていただければ幸いです。事務局長代理 松本 尚

中口 毅博 先生より(芝浦工業大学環境システム学科 地域創生研究室)

ご講演は次世代SDGs月間の企画の1つとして実施しましたが、「SDGs入門」の受講者など理工系6学科の学生がご講演を拝聴しました。学生からは「途上国支援はものを与えるイメージが強かったが、人々の自立を支援するというものでありとても素晴らしいと思った」「途上国の子どもたちは本当に貧困でかわいそうな人なのか?という言葉がとても心に響いた」「何が豊かであるか」ということを今一度考えそれに向かって何か行動を起こそうと思うなどの感想が寄せられました。65%の学生が「自分で詳しく調べてみようと思う」と回答するなど、学生の意識向上に一定の効果がありました。貴重なお話をありがとうございました。

板橋区長の坂本健氏と面談



12月3日板橋区長坂本健(たけし)氏にお目に掛かり、IV-JAPANのラオス事業を1時間余もお時間をいただき、ご紹介することができました。区長は2019年11月ラオスのセタティラート病院でシンポジウム「糖尿病患者のための在宅遠隔医療」で『板橋健康プラン』について報告したそうです。同じ板橋でボーイスカウト、ガールスカウト活動を数十年したご縁もあり、共通のスカウト仲間もいて、話が尽きません。成増の自宅敷地にスカウトの森まで作ってキャンプもできるそうで、子どもたちは幸せですね。同席したのは当会副代表の河島、おそとカフェ赤塚会長三枝氏、寮都産業村松社長。

さいたま市長の清水勇人氏を訪問



12月16日清水市長を訪問しました。市長は2011年にラオスを訪問したことがあり、その時の思い出話に花が咲き、あっという間に時間が過ぎてしまいました。さいたま市はラオスの水道事業支援のため専門家を派遣して約30年になります。経済局長の矢口氏、商工観光部長の寺村氏、観光国際課長の渋谷氏、市長特別秘書吉田氏も同席され、大変充実した面会となりました。

ラオス事務所スタッフ紹介



サバイディー、私の名前は「記念または記憶」を意味する Anousne ですが、ほとんどの人は「末っ子」という意味のニックネームである「Lah」と呼んでいます。私は工業デザインのバックグラウンドがあり、過去10年間、建設会社でさまざまな仕事をし、IV-JAPANの学校建設もお手伝いしました。Covid-19のパンデミックの間、私はほぼ2年間仕事をしていませんでしたが、私は環境問題に関心があり時間を費やしました。リサイクル材を使って商品デザインするオンラインショップ「2nd hands 2nd chances」を立ち上げ、メロンともち米を栽培する小さな有機農園も始めました。コロナが過ぎ去った後、私はプロジェクトコーディネーターとしてIV-Japan ラオスの一員になる機会を得たことにとても感謝しています。以来、私はラオスの人々に対する20年以上にわたるIV-Japanの支援を知り、心から感謝しています。



私の名前は Saysamone KEOAPHAI です。2018年からIV-JAPANでプロジェクトオフィサーをしています。ビエンチャンで2年間、電気システム、電気機器修理技術、コンピューター修理を学び、5年間会計、財政を学び、1年間 JICA ラオスのボランティアとして、そして国際協力 NGO・IV-JAPAN の職員として働いてきました。NGOで働くのは初めての経験です。この4年間、私は新しいことを学び、NGO職員としての経験を積みました。私に理解を示し機会を与え、素晴らしい仕事をさせてくれている全ての同僚に感謝しています。ありがとうございます。私の通称はルンです。

日本事務局紹介

はじめまして。9月1日から前方さんの後任として事務局を務めることになりました松本尚(たかし)と申します。JICA 青年海外協力隊としてソロモン諸島に2年、パプアニューギニアに2年半滞在し、その後 JICA ザンビア事務所にてボランティア調整員として2年間働いていました。NGO勤務は今回が初めての経験です。慣れないことばかりでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。趣味は弓道(五段)、ギター、読書、一人旅など。栃木県栃木市在住。



幸子のラオスだより 複雑なラオスの公務員採用制度

私はラオスで草の根の人たちに職業訓練を実施していますが、社会主義国のラオスでは事業を実施するときのカウンターパートはNGOが少ないので、地方自治体と協働することが多いです。そして仕事柄、公務員や教員と一緒に働きます。

なぜならば、プロジェクトの終了後は現地カウンターパートに運営を移譲し、日本人専門家は帰国します。訓練に参加したラオス人指導者に継続して事業を行ってもらうため、公務員や教師だった人たちを一から訓練し、トレーナーや運営マネージャーになってもらい、事業を継続します。公務員の給料は地方自治体から支払われるので、指導者が確保できれば事業が継続しやすいのです。

公立の小学校や幼稚園の先生が職業訓練校の縫製や調理、美容などといった分野のトレーナーになるのですが、最初はお給料が安くなるので、とても嫌がってましたが、技術が身に着くと、勤務は午前8時～午後4時までですので、夕方から、また土日の休日にブティックや美容院を自宅で開業でき、副収入が得られるので、今ではとても喜んでいきます。

しかし、このところ、せっかく2～3年も訓練した、例えば木工家具づくりの職業訓練でカウンターパートから派遣された指導者が、せっかくいい技術が身に着いたのに辞めていくケースも見られ、そこでどうしてなのか、調べてみました。

〈複雑なラオス事情〉

実は地方自治体や国家公務員採用試験が毎年実施されますが、その前段階に各省や機関は内務省から割り当てられた新規採用枠を公表します。まず第一の壁となるのが、各省や各機関から用意される〈申請書用紙〉は、あらかじめ50枚～100枚程度に限定して、それ以上は応募できないようにします。無事申請書を購入できた応募者だけが、公務員試験に臨めるわけですが、ここで次なる壁があります。

筆記試験を受かると、次に面接があり、合格すると無事公務員になれるかと思いきや、直ぐ公務員にはなれません。立場としては公務員ですが、最初は給与など待遇の面での扱いが「95%職員」と呼ばれて、試用期間(お試し期間)があります。試用期間の給料は、ラオスの最低賃金で、月額15,000円弱のうち、95%か、それ以下が支給されます。試用期間は通常6か月間ですが、能力や成果の評価によっては2・3年に及ぶこともあります。また、3カ月の産休などを取ると評価が低くなり、正式採用まで3・4年待つケースもあります。実際、産休を2回続けて取った私の知人は、23歳で採用されて以来、27歳の現在も試用期間中です。

更に関係するのが、「クォータ」と呼ばれる割当制度です。これは何かというと、今年2022年度はラオス全体の公務員は1300人採用すると、首相から発表がありました。内容は16各省に906人、国会・最高裁判所等に40人、共産党に28人、研究機関に8人、1都17県に318人、となっています。中でも群を抜いて多いのが、教員を採用する教育スポーツ省が350人、医療関係者を採用する公共保健省が335人。他省は数人～10数人程度です。外務省ですら5人です。ちなみにここには国家公務員に当たる軍隊や警察などは含みません。

データはないのですが、公務員の給料は安いのに、この狭き門になぜ学生の人気があるのかというと、公務員になるとやる気のある人は留学のチャンスがあるし、国際会議に出て外国に行くチャンスがあるので、キャリアも得られる。それに、役得が多い。例えば、公務員住宅に入れる、偉くなると車両の支給もあるし、医療保険は家族も無料、定年後は年金が支給され、安定して解雇されることもない。



ラオスの警察官

一般の公務員でも制服があるので、何よりも社会から一目される、といったところでしょうか。また、私の知り合いの夫がある省の運転手をしてますが、子どものノートやボールペンなどの勉強用具は買ったことがない、全部、勤務先からもらってくるとのことでした。

〈ボランティア公務員〉

もう一つの公務員になれるケースがあります。それは「ボランティア職員」です。

通常の公務員採用試験と同じように、筆記試験と面接を受けます。受かると、ボランティア職員として無給で働き始め、仕事ぶりが評価されると、上司が関係省にクォータ、つまり、正式採用への割り当てを要請します。ただし、この場合、2～3年はただ働きを余儀なくされ、正式採用まで4～5年はかかるのが普通です。ですので、そのうち諦めて辞職する職員が多いです。

内務省は財務省と協議して、割り当てを決めますが、まず定年退職や辞職者の数、新規役職の数等を調べ、予算との兼ね合いも見えて決定します。それを首相府に上げ、首相が3月には決定し、その年の正式採用者数を発表します。採用人数が割り当てられた機関は6月に試験を実施し、7月には採用を決めます。

各省、機関の95%公務員やボランティア公務員は平均25%に上ると言われています。

現状では4人に1人が試用期間に当たる職員か、無給ボランティア職員の「非正規公務員」です。これが複雑なラオスの公務員採用制度です。

当会の事業のトレーナーだった彼は、無給ボランティア職員でした。このような制度の中で、長年、正式採用に至らず、無給のままで生活が成り立たなくなったので、辞めたことが分かりました。彼は木工家具の技術が身に着いたので、民間の家具会社などには就職できると思います。私は身近に起きた出来事から、いわば駆け出しの公務員の置かれた環境がいかに過酷なものか分かりました。



学校教師

山の中の校長先生と奥様

いつもご寄付ありがとうございます。寄付者をご紹介します

2022年8月1日～2022年11月30日 ※敬称略・順不同

チャンパー山の民奨学金 寄付者 1口 60,000円
山口正志(1口)

カノック奨学金 寄付者 1口 12,000円

斎藤加代(3口)、岡庭史子(2口)、又吉ミチ(1口)、亀田誠一郎(2口)、蛭間愛子(1口)、
加藤千夏(1口)

国際協力費・運営費 寄付者 ※2,000円未満は省略させていただきます

斎藤加代(22,000円)、織田佐由子(12,000円)、豊田利久(10,000円)、飯村浩(3,000円)、
東尾淳子(3,035円)、上倉健司(5,000円)、安田昌美(3,000円)、稲葉尚子(3,000円)、
(有)イチカワ北海食品(10,000円)、宮路大樹(3,000円)、古谷朋子(3,000円)、
蛭間愛子(3,000円)、中西章(3,000円)、田中誠吾(3,000円)、高倉昌子(3,000円)、
関矢綾子(3,000円)、篠田卓(6,000円)、斎藤友美恵(3,000円)、ケナウィのぞみ(5,000円)、
柏木昭雄(3,000円)、角田結美子(3,000円)、尾方真悟(3,000円)、入江利恵子(5,000円)

SNSでもIV-JAPANのお知らせをご覧になれます。
ぜひ、ご登録おねがいいたします。



@IVJAPANHQ



@706lmpfg



@IvJapan



IVJAPANMIHASHI

“クレジットカード”からも
ご寄付できます！

(国際協力費・運営費のみ)

1回のご寄付または、毎月のご寄付(500円～)をお選び頂けます。



詳しくは
←ホームページ
をご覧ください。

IV-JAPANの活動はみなさまのご寄付に支えられています

●IV-JAPANに寄付をすることで活動に参加しませんか？

- | | | |
|--------------|-----------------------------|----------------|
| ①カノック奨学金 | 12,000円(1口)以上 | 奨学生の授業料補助になります |
| ②チャンパー山の民奨学金 | 60,000円(1口)以上 | 訓練中の食費や交通費として |
| ③国際協力費・運営費 | 個人:3,000円以上/団体・法人:10,000円以上 | |

●申込方法 ※銀行振込の方は事務局までご住所等詳細をお知らせください。

郵便振替 : (口座番号) 00140-5-537168 (加入者名)IV-JAPAN

銀行振込 : 埼玉りそな銀行浦和中央支店 普通預金 口座番号:5038052

名義人:(特非)国際協力 NGO・IV-JAPAN



認定・埼玉県指定 特定非営利活動法人 国際協力 NGO・IV-JAPAN

当会へのご寄付は、寄付金控除の対象になります。

日本事務局

〒330-0856

埼玉県さいたま市大宮区三橋 2-545-2-101

TEL/FAX:048-622-8612

E-mail: iv-japan@vanilla.ocn.ne.jp

ホームページ:<https://iv-japan.org/>

ラオス事務所

P.O Box7920 Vientiane, Lao PDR

TEL/FAX : +856-21-316047

E-mail: ivjapan.vte@gmail.com



アカウントービリティ
セルフチェックマーク